

# インドマザーテレサボランティア&ホームステイプログラム

**参加期間** 2013年4月11日 ~ 2013年4月17日まで (1週間)

## 参加の動機

日本の児童養護施設で保育士として働いていたので、海外の孤児院の現状を見てみたかった。

## ホームステイ滞在に関して

家族構成: お父さん お母さん 子供( )人 その他( お手伝いさん )

ペット: 有( )  無

食事: 非常においしかった  おいしかった  普通  おいしくなかった  食べられなかった

生活形態について(日本での生活と較べて異なる点、注意点など):

食事の時間や、トイレ・お風呂といった生活状況は違いが多い。ティッシュや消毒液・シャンプーなど、現地で購入出来ても日用品は大目に持っていくことをお勧めします。

感想:

ホームステイのお家には洗濯機も冷蔵庫もあったので、生活自体は何も困ることがなかったし、干渉もしないので快適に過ごせました。ただ、毎日暑くて水分をこれでもかというくらい飲んだし、たくさん買いました。水道水は絶対飲まなかったし、屋台のお店の物もある程度選んでいたの、そこまで体調を崩すこともなく、毎日楽しく過ごせました。日本人のことをよく理解してくれるのでホストファミリーの方が気を遣ってくれているような感じでした。英語が話せなくても一生懸命コミュニケーションを取ろうとしてくれるし、単語単語でしか伝えられなくても、ちゃんと聞いてくれるので、十分良い関わりが出来たと思います。ただやはり英語が話せるに越したことはない!

## ボランティア活動に関して

活動先施設: カリガート(死を待つ人々の家) プレムダン(病気や精神障害のある患者)  
シャンティダン(子供、精神障害者) ナポジボン(知的障害者) ダヤダン(健常者、障害者)  
 シュシュババン(健常孤児院、又は障害孤児院)  シシュババンハウラー(孤児、重病の女性の家)

活動内容と感想(活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい):

1wしか期間がなかったから、やはり足りない感がありました。ボランティア自体は午前中だけ。日曜日にはナポジボンでストリートチルドレンのボランティアに行ったり、他の施設へ見学へ行ったり、シュシュババン以外の所も見れたり出来ました。でもやっぱりもっと時間があれば・・・。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は:

基本はバス。自宅から40分くらいかけてマザーハウスまで通っていました。シュシュババンはまだ近いから良いけど、他の施設はそこからけっこう離れているから、他施設でやると道を覚えたりどのバスに乗れば良いとか、慣れるまでかなり大変だと思います。でも、他の国のボランティアとみんな一緒に移動するから、最初は付いていけば良いと思います。

## Cultural activitiesに関して \* 受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい

英会話レッスン：

英会話レッスンは毎日やりたかったけど、結局1回のみ。でもすごく為になるから、たくさん受けるべき！！

YOGA：

ヨガは日本でやるものと違い、凄くスローリー。激しくないから凝りをほぐすのにはちょうど良い。1回200ルピー。激しいのが好きな人には向かないけど、私は気持ちがよかったです。

## 持ち物に関して

日本より用意し、役に立ったものは：

辞書、日用品全般。とにかく日用品はあればあるだけ良いです。ウエットティッシュとか消毒液は持っていくべき。

その他、便利だと思うものは：

ドライヤー。自然乾燥でも構わない人は良いけど、インドの家庭にはドライヤーなんて物はないから、持って行った方が良い。

## コルカタ市に関して

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい：

地球の歩き方にも載っていたお店にはだいたい人が集まります。特に観光とかボランティアで来ている人のたまり場みたいな感じになってました。コルカタもwi-fi通じるところ少なく、繋がる場所で食べたりしてました。観光スポットは、ビクトリア記念堂と教会。あそこはイギリス時代の建物だから、雰囲気が一転してきれいです。

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい：

サダルストリート。みんなサダルストリートに行くって書いてあったけど、特に何かあるわけでもないし、かなり声かけられるし悪いインド人がたくさんいます。サダルよりもニューマーケットの方が活気があるし、たくさんお店もありますよ。

## コルカタ以外の街を訪れた方は、下記の質問にお答えください

どちらに行かれましたか：

バラナシ・アーグラ・デリー。5泊6日の旅行でした。各土地に1泊しか出来なくて、寝台列車で移動だからゆっくり出来る観光ではないけれど、でも行って良かったです。ガンジス河やタージマハル。見て損は絶対ありません。観光にはぜひ行くべきだと思います。コルカタとまた雰囲気が違います。

交通手段、かかった時間、費用は：

バスの運賃が1回につき5〜7ルピー。帳簿はつけていなかったけど、多分合計100ルピーくらい。あと、たまに地下鉄。でも自分のお金じゃなくて、カロールさんがSuicaみたいなのを貸し

てくれた?からお金を払うことはなかったです。

感想：

カロールさんがいてくれたからすごく助かったし、困ることはありませんでした。面倒見が良いので本当に良くしてくれます。ボランティアも世界の人と関わられたし、ボランティアでも普通に過ごしていても、周りを見渡せば貧しい人ばかり。ボランティアもやって良かったけど、インドという国で現状を見れたことが、私には一番の収穫でした。学ぶことが山ほどありました。

### ご参加頂いた時期に関して

気候、お天気はどうでしたか：

常に暑い。一度夜、豪雨と雷がありました。2時間もしない内に止んだけど、昼間は一回も降らなかった。

服装は：

日本からけっこう持って行ったけど、みんな現地調達でインド服着ていました。サリーとかじゃなく、そこら辺のお店で売っている刺繍ものとか、薄手のズボンとか。可愛い服もたくさんあるから洋服は現地調達にした方が荷物も楽で良いです。洋服も安い!!

### インドの物価に関して

ご参加時のレートは： 1ルピー=約（ ）円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい：

(例：ミネラルウォーター1L 12ルピー (約30円)、焼き飯30ルピー (約75円) 等)

ミネラルウォーター1ℓ15ルピー。ジュース30ルピー。食事は100ルピー～150ルピー。高いところだと200からしますが、やはり高いだけあってお店とかは綺麗な感じです。

### 予防接種に関して

渡航にあたり予防接種を受けましたか： はい  いいえ

はいと回答された方は、その種類をお知らせ下さい：

**今回のご参加を通じて、最も印象に残っていることや今後の参加者へのアドバイスなど自由にお書きください。\*インドで撮られた写真をお貼り頂く際は、説明のコメントもお願いします**

インドで一番衝撃的だったのが、やはり環境でした。貧困の差が激しいことは分かっていたけど、あまりにも貧しい人が多すぎることに驚きでした。大人も子供も老人も貧しい人はみんな物乞いをしていたり、それが当たり前のことであるということに、日本では考えられないなとショックを受けました。でも、みんな懸命に生きていてストリートチルドレンなんかは、笑顔がとても素敵だった。ただ裏の顔もありました。

マザーハウスにいる人たちもすごい環境にいた人ばかりで、正直施設の環境も整っているわけではないし、きれいというわけでもない。足りない物も多いけど、それでも一生懸命働いていたシスターやマシー（お

手伝いさんみたいな人)もすごい頑張っているのが分かりました。対応が荒かったりもするけど。ボランティアも普通の生活も毎日充実して過ごせたのは、ホストファミリーとカロールさん、仲良くなった世界各国の人たちみんな彼らのおかげで素敵な1wが過ごせたのだと感謝しています。最初は不安もかなりあったけど、やはり色々見て体験出来て心から良かったと思えます。普通では体験できない貴重な時間を過ごせたことは言うまでもありません。

## ストリートチルドレンの子供たち



## ホストファミリー



## カリガート



## シュシュババン



## 最後に、あなたのことをお知らせ下さい

お名前（イニシャル、ニックネーム可）: Atsuko

性別： 男性・女性      ご年齢： 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

ご協力有難うございました。今後のプログラム運営に役立てさせていただきます。